

愛知一中・旭丘バスケット部OB会 会計報告

1. 平成元年度決算報告（昭和63年10月1日～平成元年9月30日）

収入の部		支出の部	
年会費(197名分)	482,000円	通信費	99,092円
利息	3,926	印刷費	139,727
4校リーグ記念品売却益	894	事務費	5,737
前年繰越金	235,014	会議費	67,719
		事業補助金(新年会、4校リーグ)	37,861
		現役補助金(男子ユニフォーム)	85,000
		鯨光会運動部連合会会費	30,618
		名簿作成準備金	150,000
		繰越金	106,080
合計	721,834円	合計	721,834円

平成元年新年会 収入	会費(36名)	54,000円	支出	87,874円
	OB会より	33,874		

2. 平成2年度 予算案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	108,080円	通信費	100,000円
年会費(200名)	450,000	印刷費	150,000
利息	5,000	事務費	20,000
合計	563,080円	会議費	50,000
		事業費	50,000
		鯨光会運動部連合会々費	30,000
		現役補助	70,000
		四校リーグ分担金	30,000
		名簿作成準備金	50,000
		繰越金	13,080
		合計	563,080円

3. 定期預金の部

昭和62～平成元年度	
名簿作成準備金	559,371円
平成2年度名簿作成準備金	50,000
合計	609,371円

役員会報告

11月17日、今年度の役員会を開催しました。今回は名誉会長の柴垣氏を始め合計21名、主な役員がほぼ出席したこともあって、思い出話を交えながらも熱のこもった会となりました。

主な内容をここに紹介しておきます。

(1) 第40回バスケットボール4校リーグ記念大会の報告

(2) 平成元年度会計報告

平成2年度予算案

多くのOB諸氏の協力で会費収入が目標の50万円まであと一步の48万円余となりました。(ありがたいとございます)しかし今年度は4校リーグ等の準備で支出も多く、繰越金や名簿準備金以外の会の運営資金等で47万円かかっています。

平成2年度からも従来に比較して、鯨光会運動部連合会会費3万円、4校リーグの各OB会の分担金3万円の計6万円は支出増となります。皆様からいただいた会費をできる限り大切に運用していこうと考えておりますが、OB諸氏もより一層の会費収入増(目標50万円)にむけて、御協力をお願いします。

(3) 役員改選

役員の任期は2年で、今年は改選の年です。役員会では下記のように選出しました。1月4日の総会で承認されれば、河地新会長の下、より一層OB諸氏の親睦と、母校の発展のために努力

したいと思っております。今回は特に、従来手薄であった10回〜20回の幹事の充実に関心しました。

(4) 平成2年度の総会について

前回より総会が1月4日となり、出席者も70余名から40名ほどに減ってしまいました。一部OBからは是非2日に戻して欲しいとの声もありますが、学校側の状況は昨年の会報でお知らせした通りで変化ありません。今年度も4日開催です。仕事で出席できないOBには申し訳ありません。その分、他の行事(4校リーグ)を充実させていこうということとなりました。

(5) 名簿の改訂について

平成元年度は改訂に取りかかれませんでしたでしたが、今年度には改訂したいと思います。資金も60万円たまったので、なんとか作製と郵送がまかなえそうです。住所確認のため同封の葉書は必ず出して下さい。

(6) 現役強化について

次頁の4校リーグ等の結果をご覧になってもわかるように現役は男女ともどん底の状態です。顧問の近藤先生からもユニフォーム等のハード面の援助以上にソフト面でも協力お願いしたいとのこと。かっつてのようにOBが鯨光館へ顔を出し現役を鍛える場面が減っているようです。役員会で結論は出ませんでしたが、現役強化のために特に若手OBの積極的な協力体制作りが今後の課題です。OB諸氏の知恵をお聞かせ下さい。(以上)

役員 (案)		()内は卒業年次	
名誉会長	柴垣 芳太郎 (一中 60)	幹事	山田 正秋 (一中 60)
会長	河地 一宏 (旭丘 9)	〃	伊藤 求 (旭丘 8)
副会長	大島 浩 (〃 10)	〃	鈴木 啓二 (〃 10)
〃	服部 保孝 (〃 25)	〃	松浦 裕 (〃 13)
会計	丹下 雅博 (〃 27)	〃	芹沢 徹 (〃 13)
〃	近藤 耕司 (〃 29)	〃	岩瀬 晃彦 (〃 15)
会計監査	小森 治雄 (一中 62)	〃	若山 秀夫 (〃 18)
〃	岩城 新 (旭丘 7)	〃	岸田 真 (〃 20)
相談役	田中 三郎 (一中 65)	〃	小服 利行 (〃 23)
〃	伊藤 圭一郎 (旭丘 1)	〃	服部 敦 (〃 29)
〃	川本 賢二 (〃 3)	(会計補佐)	斉場 実 (〃 32)
〃	大山 隆久 (〃 5)	幹事	加藤 茂和 (〃 35)
〃	大岩 城新 (〃 7)	〃	吉原 基 (〃 36)
〃	荒川 宏 (前顧問)	〃	高原 玲子 (〃 37)
〃	松下 一郎 (現顧問)	〃	林 靖訓 (〃 38)
〃	近藤 仁司 (〃)	〃	村山 浩二郎 (〃 38)
		〃	柴田 明恵 (〃 38)
		〃	太田 和恵 (〃 39)

第40回4校リーグ記念大会報告

8月5・6両日、旭丘競光館において第40回記念大会が盛大に行われた。開会式には競光会会長太田元次氏も出席され、このリーグ戦の歴史の古さと現在の盛況さに驚かれるとともに、リーグ戦の末永い発展にむけての激励の言葉をいただいた。

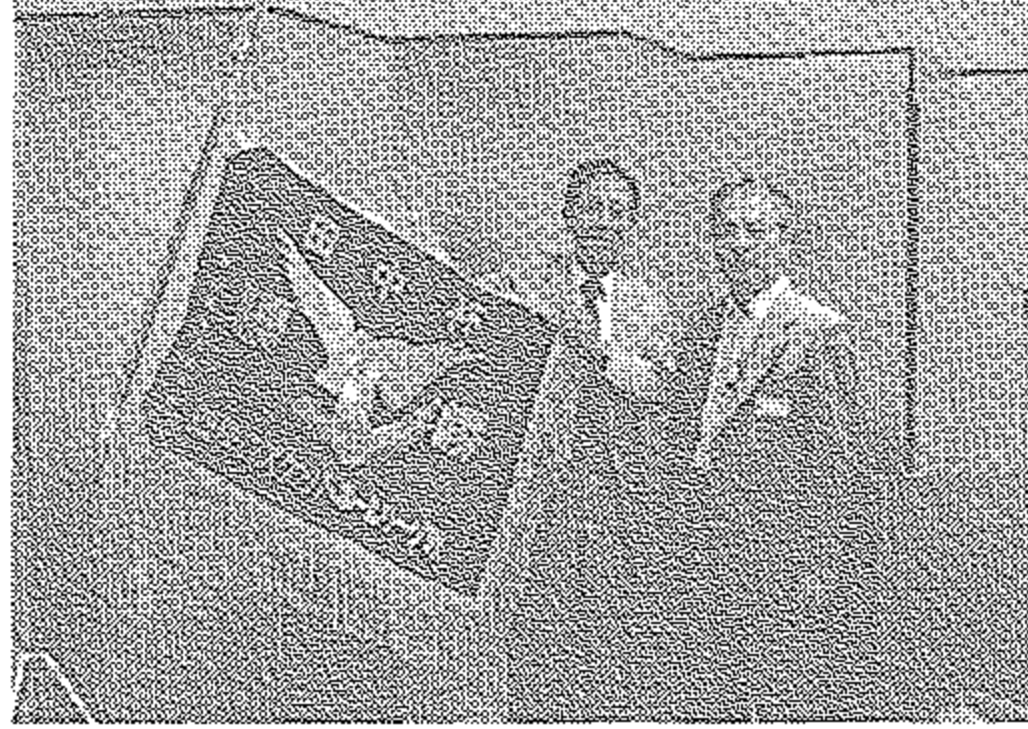
昨夏より4校合同OB会を発足、今大会に向けて幾度も会合を重ねてきただけあって、OBの熱気が伝わって、現役戦も初戦から盛り上った。特に今大会より審判は公式審判がそろい、ゲームをしつかり引き締めていた。

あいにく我が旭丘は男女ともなかなか勝利をあげることができず、この点においては心残りであった。6日、昨年の雪辱を果すべく集まった旭丘OBチームは質・量ともに充実。初戦、若手中心の明和に予想以上に苦しめられたが、ますます円熟味を増した名ガード若山選手(18回)を中心に粘り逆転勝ち。決勝戦でも向陽に快勝して見事優勝を手中に収めた。

長い間4校リーグを援助して下さった田中三郎氏(一中65回)が40回を記

念して正絹の大優勝旗を寄贈、閉会式では今大会優勝校明和高校の主将が、ズシリと重いその優勝旗を誇らしげに持ち帰った。

また6日夜の王山会館での記念パーティは134名の各校OBが集まり盛大に行なわれた。開催校代表の旭丘岩城会長の挨拶に始まり各校OB代表の挨拶、顧問よりの現状報告。そして40年間この



新調なった優勝旗と山本、田中両氏

4校リーグを支えてきた田中三郎氏へ旭丘校長山元十次氏が感謝状の贈呈。懐かしい顔と想い出話にふけるうちにあつという間に2時間は過ぎてしまったようであった。記念品として500枚製作したTシャツ(デザインは旭丘美術科から募集)も中々好評でほとんど売り切れだった。

さて、今大会を期して4校リーグの運営について合同OB会において次のようなことが決定された。

- 現役戦には公式審判をつける。
- 審判およびトロフィー等の費用は4校のOB会が負担(各校3万円)する。
- 田中三郎氏の今までの功績を称えて

第40回四校リーグ戦の結果

1. 現役男子

	(菊里)	(明和)	(向陽)	(旭丘)	得失差
(菊里)	***	× 55-60	○ 68-44	○ 67-40	2勝1敗 +19
(明和)	○ 60-55	***	× 48-56	○ 87-54	2勝1敗 -3
(向陽)	× 44-68	○ 56-48	***	○ 81-41	2勝1敗 -16
(旭丘)	× 40-67	× 54-87	× 41-81	***	0勝3敗

2. 現役女子

	(明和)	(向陽)	(菊里)	(旭丘)	得失差
(明和)	***	○ 46-34	○ 52-38	○ 53-36	3勝0敗
(向陽)	× 34-46	***	○ 34-21	○ 39-33	2勝1敗
(菊里)	× 38-52	× 21-34	***	○ 57-34	1勝2敗
(旭丘)	× 36-56	× 33-39	× 34-57	***	0勝3敗

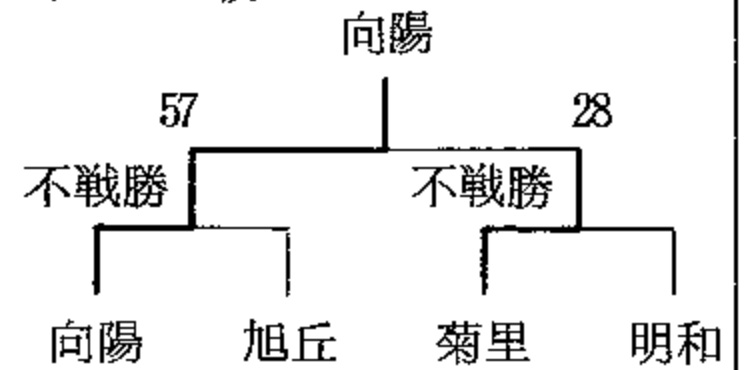
3. 総合

優勝	明和高校	5勝1敗
第2位	向陽高校	4勝2敗
第3位	菊里高校	3勝3敗
	旭丘高校	0勝6敗

4. OB戦



5. OB戦



6. 超OB戦

明和 対 向陽・菊里・旭丘 (引き分け)

氏寄贈の優勝旗を田中杯とする。

色々大変なこともあったが、4校のOB会が今回の行事によって活性化し、また協力体制ができたことはなにより収穫であった。



編集後記

記念大会も無事終了、開催校OB会としての責任もなんとか果たせました。さて記念品のTシャツが20枚ほど余っています。新年会で販売いたしますのでどうぞ。(一着千五百円)

編集責任者

服部保孝(25) 丹下雅博(27)
近藤耕司(29) 服部 敦(29)